

第 1 期 豊岡市障害児福祉計画に係るアンケート調査結果

【目 次】

1. アンケート調査の実施概要	1
(1) 調査目的	1
(2) 調査対象と回収率	1
(3) 調査期間	1
(4) 報告書の見方	1
2. 調査結果	2
(1) 本人や家族について	2
(2) 障害の状況について	5
(3) 現在の生活と日常生活の介助について	10
(4) 住まいや暮らしについて	14
(5) 日中活動について	16
(6) 就学について	20
(7) 障害福祉サービス等の利用について	28
(8) 相談相手について	32
(9) 権利擁護・人権尊重、災害時の避難等について	33
(10) 障害福祉サービスに関する自由意見	36

1. アンケート調査の実施概要

(1) 調査目的

本調査は、障害のある人の生活状況や福祉サービスの利用状況、利用意向などを把握し、計画策定の基礎資料として障害のある人の福祉の推進を図ることを目的に実施しました。

(2) 調査対象と回収率

平成 29 年 7 月 1 日現在、本市在住で 18 歳未満の身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳のいずれかをお持ちの方、あるいは、障害児通所支援サービスを利用されている方。

対象者数	有効回収数	有効回収率 (%)
351	128	36.5

(3) 調査期間

平成 29 年 7 月 19 日 (水) ～平成 29 年 8 月 7 日 (月)

(4) 報告書の見方

- (ア) 集計結果は、すべて小数点以下第 2 位を四捨五入しており、比率の合計が 100% とならないことがあります。
- (イ) 複数の回答を依頼した質問では、比率の合計が 100% とならない場合があります。
- (ウ) 回答比率 (%) は、その質問の回答者数を基数 N (=Number of case) として算出しています。
- (エ) 本文中の表などにおいて、選択肢が長い文章となる際に簡略化している場合があります。

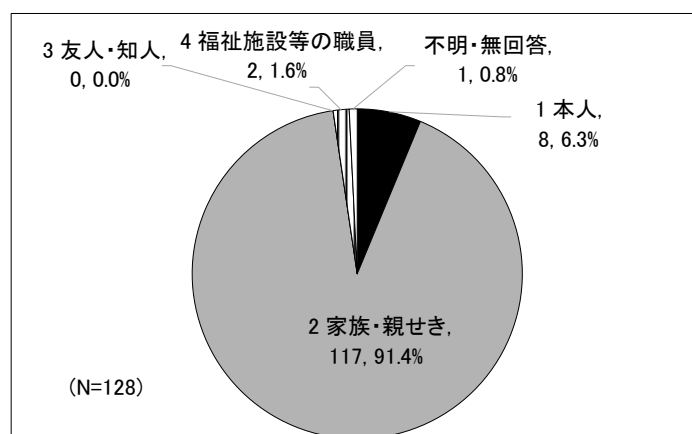
2. 調査結果

(1) 本人や家族について

問1 この調査票はどなたが記入されますか。あなたからみた続柄でお答えください。(あてはまるもの1つだけに○)

1 本人	3 友人・知人	5 その他()
2 家族・親せき	4 福祉施設等の職員	

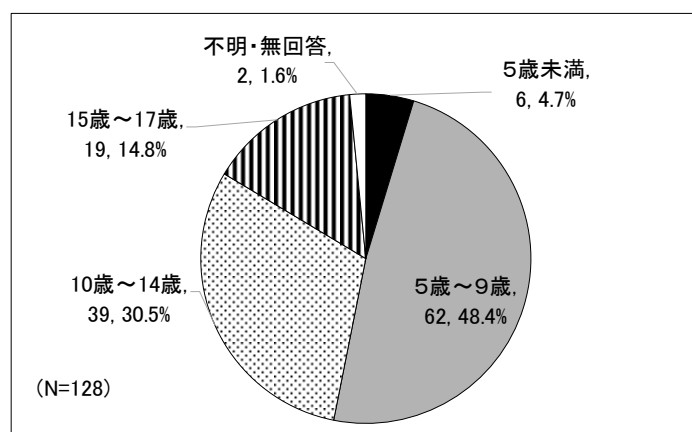
回答者のほとんどが「家族・親せき」となっています。



問2 あなたの年齢をおたずねします。
(平成29年7月1日現在の満年齢)

満 () 歳

本人の年齢区分をみると、「5歳～9歳」の割合が48.4%で最も高く、次いで、「10歳～14歳」(30.5%)、「15歳～17歳」(14.8%)となっています。

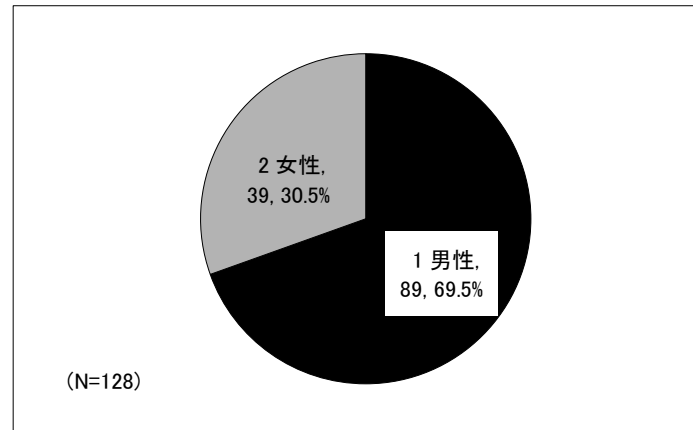


問3 あなたの性別はどちらですか。(どちらかに○)

1 男性

2 女性

本人の性別は、「男性」の方が多く、男女比は 7:3 となっています。



問4 あなたは、現在、どなたと一緒に暮らしていますか。(あてはまるものすべてに○)

1 父母

4 福祉施設の人々

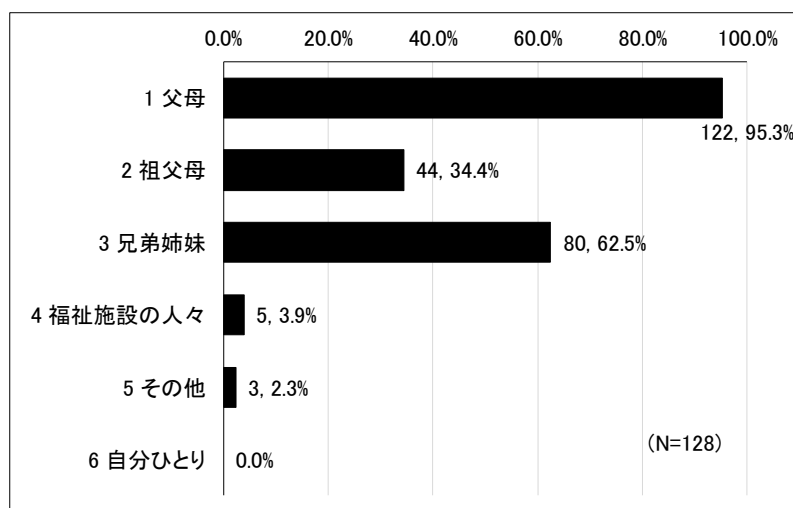
2 祖父母

5 その他 ()

3 兄弟姉妹

6 自分ひとり

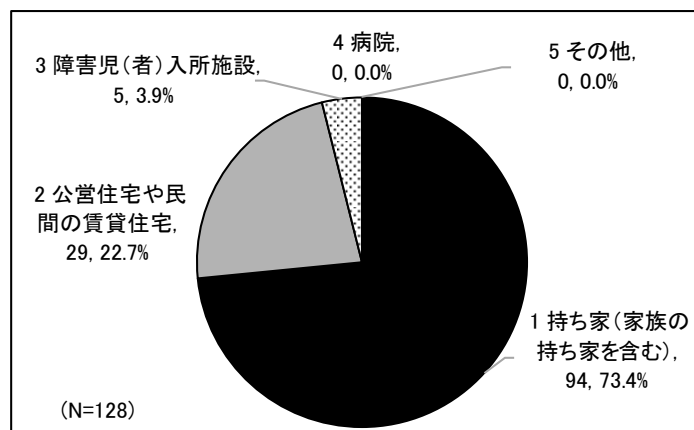
ほとんどが、家族と暮らしています。



問5 あなたの現在のお住まいは、次のうちどれですか。（あてはまるもの1つだけに○）

- | | |
|------------------|----------|
| 1 持ち家（家族の持ち家を含む） | 4 病院 |
| 2 公営住宅や民間の賃貸住宅 | 5 その他（ ） |
| 3 障害児（者）入所施設 | |

現在の住まいは、「持ち家」がほとんどで（73.4%）、次いで、「賃貸住宅（22.7%）」となっています。



(2) 障害の状況について

問6 あなたは「身体障害者手帳」をお持ちですか。お持ちの方は手帳の等級（障害の程度）をお答えください。（あてはまるもの1つだけに○）

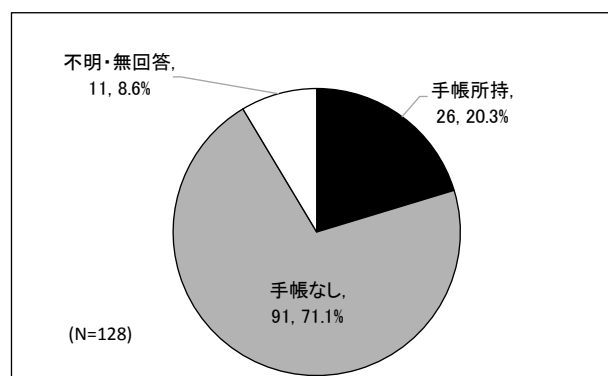
1 1級	4 4級	7 持っていない
2 2級	5 5級	
3 3級	6 6級	

問7 身体障害の種類をおたずねします。（あてはまるものすべてに○）

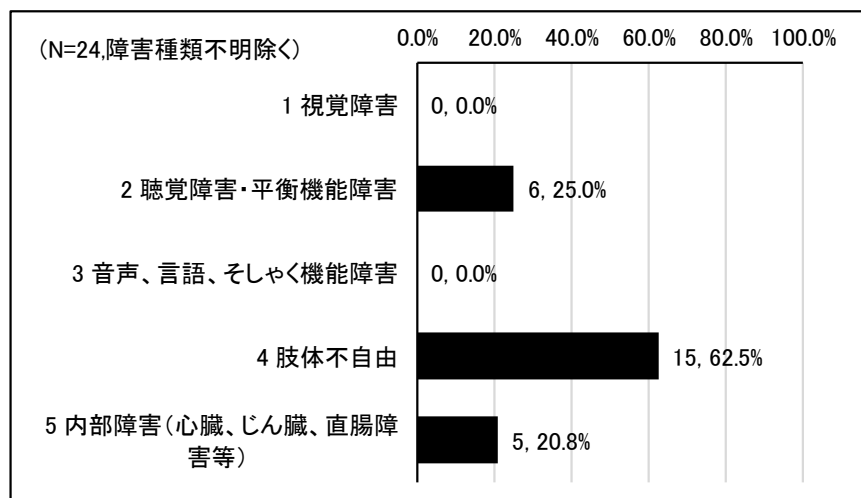
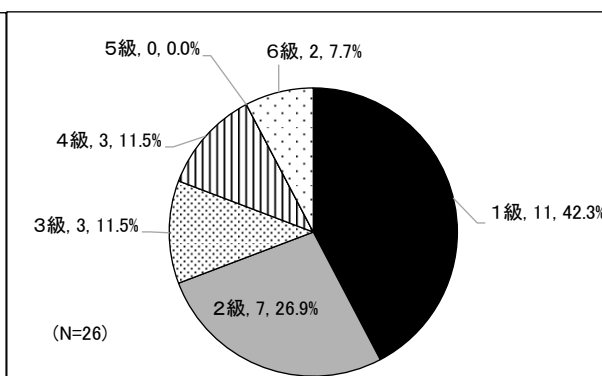
1 視覚障害	4 肢体不自由
2 聴覚障害・平衡機能障害	5 内部障害（心臓、じん臓、直腸障害等）
3 音声、言語、そしゃく機能障害	

「身体障害者手帳」の所持者の割合は 20.3%で、手帳を所持していない割合が 71.1%となっています。手帳所持者の等級では、「1級」が最も多く、次いで、「2級」が多くなっています。障害の種類では、「肢体不自由」が最も多くなっています。

【身体障害者手帳の所持】



【身体障害者手帳所持者の等級】



問8 あなたは「療育手帳」をお持ちですか。(あてはまるもの1つだけに○)

1 A	2 B 1	3 B 2	4 持っていない
-----	-------	-------	----------

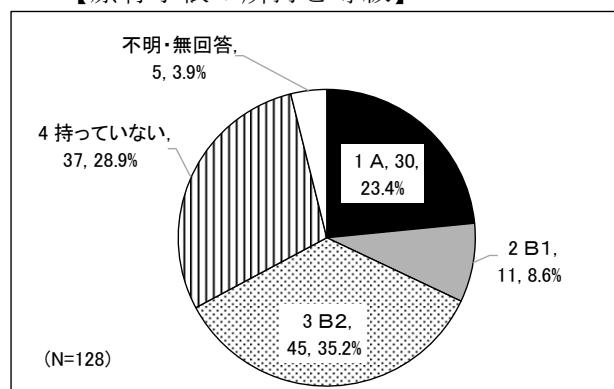
問9 あなたは「精神障害者保健福祉手帳」をお持ちですか。(あてはまるもの1つだけに○)

1 1級	2 2級	3 3級	4 持っていない
------	------	------	----------

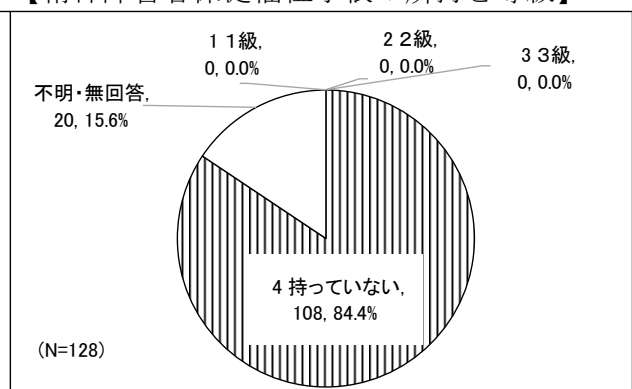
「療育手帳」の所持者の割合は、67.2%（「A」23.4%、「B 1」8.6%、「B 2」35.2%の合計）で、「持っていない」が28.9%となっています。

一方、「精神障害者保健福祉手帳」の所持者はありません。

【療育手帳の所持と等級】



【精神障害者保健福祉手帳の所持と等級】



問10 問6、問8、問9で、いずれも「持っていない」と答えた方にお聞きします。
医師からどのような診断を受けたことがありますか。

医師から受けた診断 ()

医師から受けた診断では、23人の回答があり、その内容は以下のとおりです。

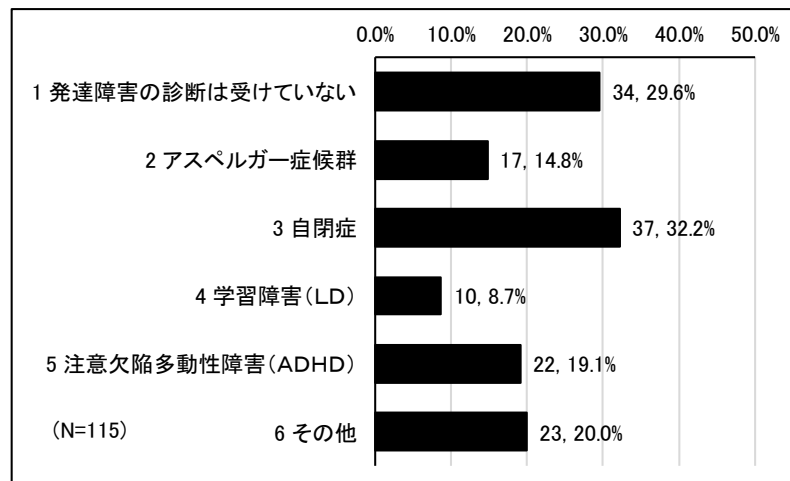
診断内容	回答件数
自閉症スペクトラム	9
発達障害	6
アスペルガー症候群	5
運動機能の特異的発達障害	1
言語発達遅滞	1
場面緘黙症	1
注意欠陥多動性障害 (ADHD)	1
脳性麻痺	1
診断はつかなかった	1
合計	26

注：1人で複数の診断内容があるため回答者数(23人)と回答件数(26件)は合いません。

問11 あなたは発達障害の診断を受けていますか。(あてはまるものすべてに○)

1 発達障害の診断は受けていない	4 学習障害 (LD)
2 アスペルガー症候群	5 注意欠陥多動性障害 (ADHD)
3 自閉症	6 その他 ()

「発達障害の診断」では、「自閉症」の診断を受けている割合が最も高くなっています。



【身体障害者手帳と療育手帳の重複所持者】

身体障害者手帳と療育手帳の重複所持者は、10.9% (14 人) となっています。

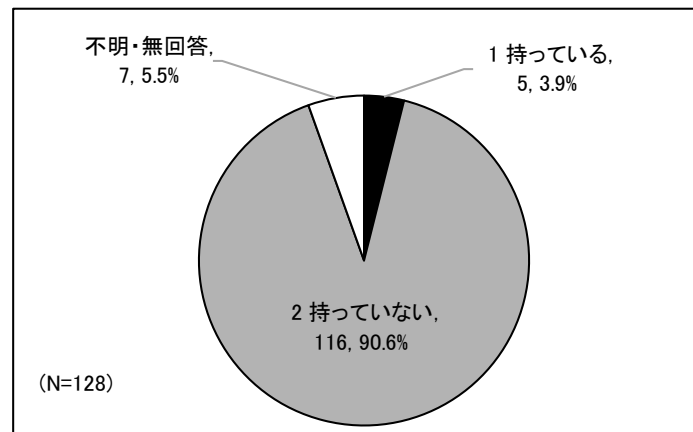
手帳所持者数		問 8 療育手帳の所持			
		1 所持している	2 所持していない	不明・無回答	合計
問 6 身体障害者手帳の所持	1 所持している	14	9	3	26
	2 所持していない	64	26	1	91
	不明・無回答	8	2	1	11
	合計	86	37	5	128
手帳所持者数の構成比		問 8 療育手帳の所持			
		1 所持している	2 所持していない	不明・無回答	合計
問 6 身体障害者手帳の所持	1 所持している	10.9%	7.0%	2.3%	20.3%
	2 所持していない	50.0%	20.3%	0.8%	71.1%
	不明・無回答	6.3%	1.6%	0.8%	8.6%
	合計	67.2%	28.9%	3.9%	100.0%

問12 あなたは、「小児慢性特定疾病医療受給者証」をお持ちですか。（どちらかに○）

1 持っている

2 持っていない

「小児慢性特定疾病医療受給者証」を所持している割合は 3.9%となっています。



問13 あなたが現在受けている医療的ケア（医療処置）はどれですか。（あてはまるものすべてに○）

1 気管切開

2 人工呼吸器（レスピレーター）

3 吸入

4 吸引

5 胃ろう・腸ろう

6 鼻腔経管栄養

7 中心静脈栄養

8 透析

9 カテーテル留置

10 ストーマ（人工肛門・人工ぼうこう）

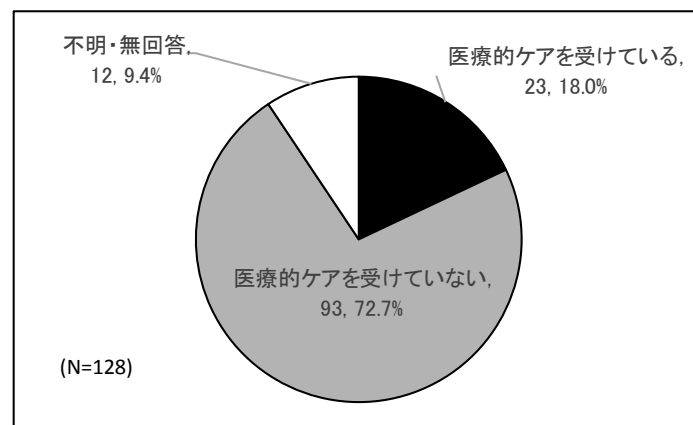
11 服薬管理

12 その他（ ）

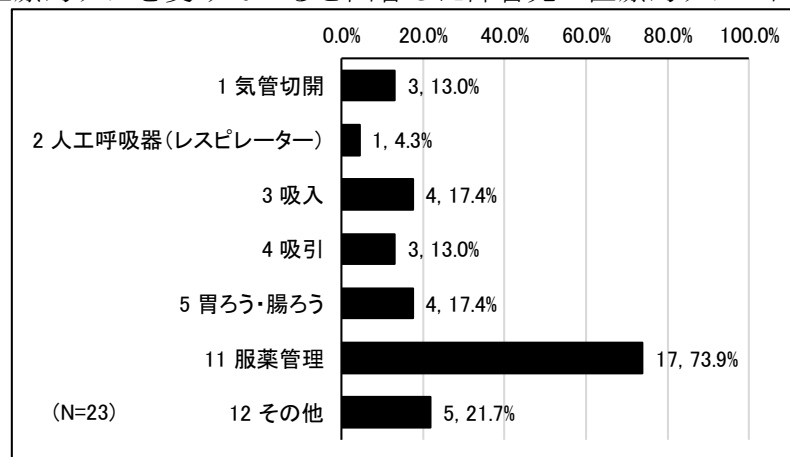
13 特にない

現在受けている医療的ケア（医療処置）は、「受けている」が 18.0%で、「受けていない（特にない）」が 72.7%となっています。

医療的ケア（医療処置）を受けている場合では、「服薬管理」が最も多くなっています。



【医療的ケアを受けていると回答した障害児の医療的ケアの内訳】



(3) 現在の生活と日常生活の介助について

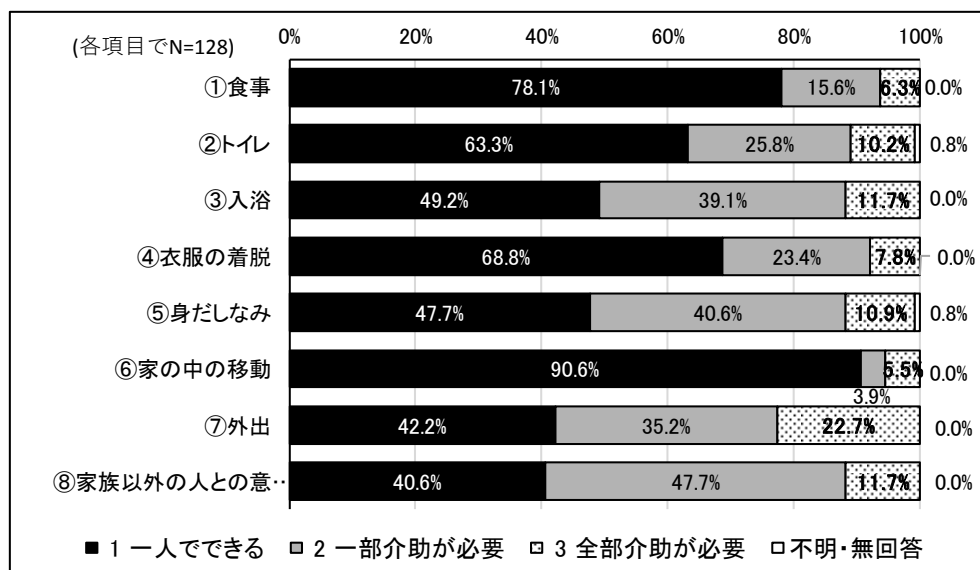
問14 日常生活で、次のことをどのようにしていますか。①から⑧のそれぞれにお答えください。(①から⑧のそれぞれに○を1つ)

項 目	一人で行える	一部介助が必要	全部介助が必要
①食事	1	2	3
②トイレ	1	2	3
③入浴	1	2	3
④衣服の着脱	1	2	3
⑤身だしなみ	1	2	3
⑥家の中の移動	1	2	3
⑦外出	1	2	3
⑧家族以外の人との意思疎通	1	2	3

「一人で行える」の割合をみると、「⑥家の中の移動」が90.6%で最も高く、次いで、「①食事」(78.1%)、「④衣服の着脱」(68.8%)、「②トイレ」(63.3%)となっています。

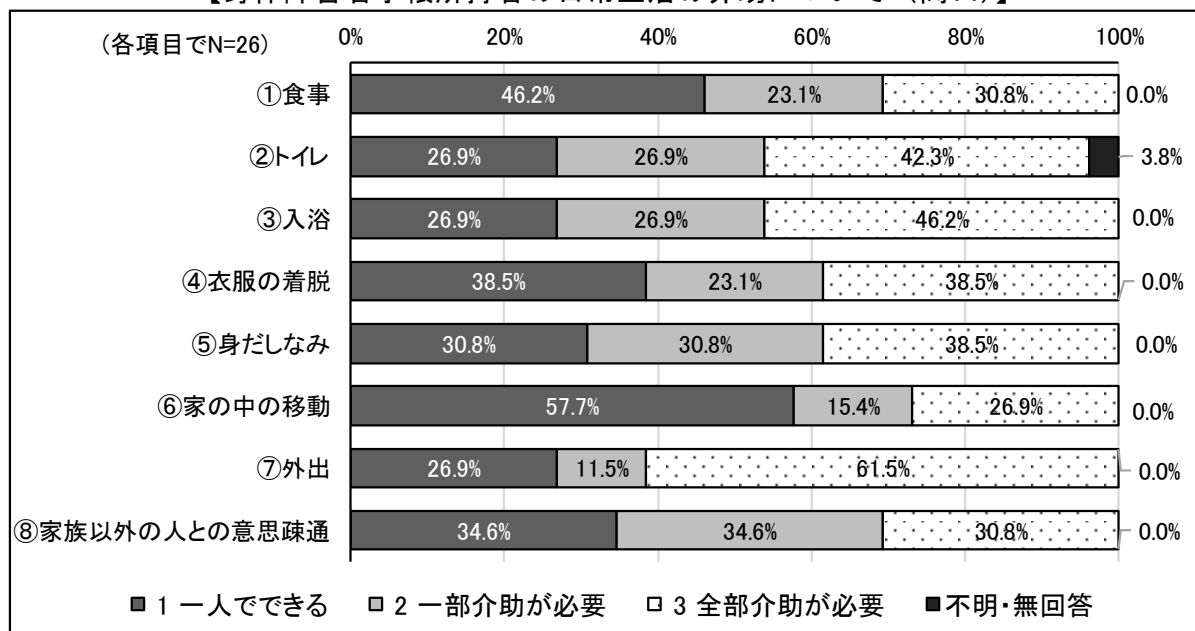
一方で、「一部介助が必要」の割合が比較的高いのは、「⑧家族以外の人との意思疎通」(47.7%)、「⑤身だしなみ」(40.6%)、「③入浴」(39.1%)、「⑦外出」(35.2%)などとなっています。

また、「全部介助が必要」では、「⑦外出」の割合が22.7%と最も高くなっています。

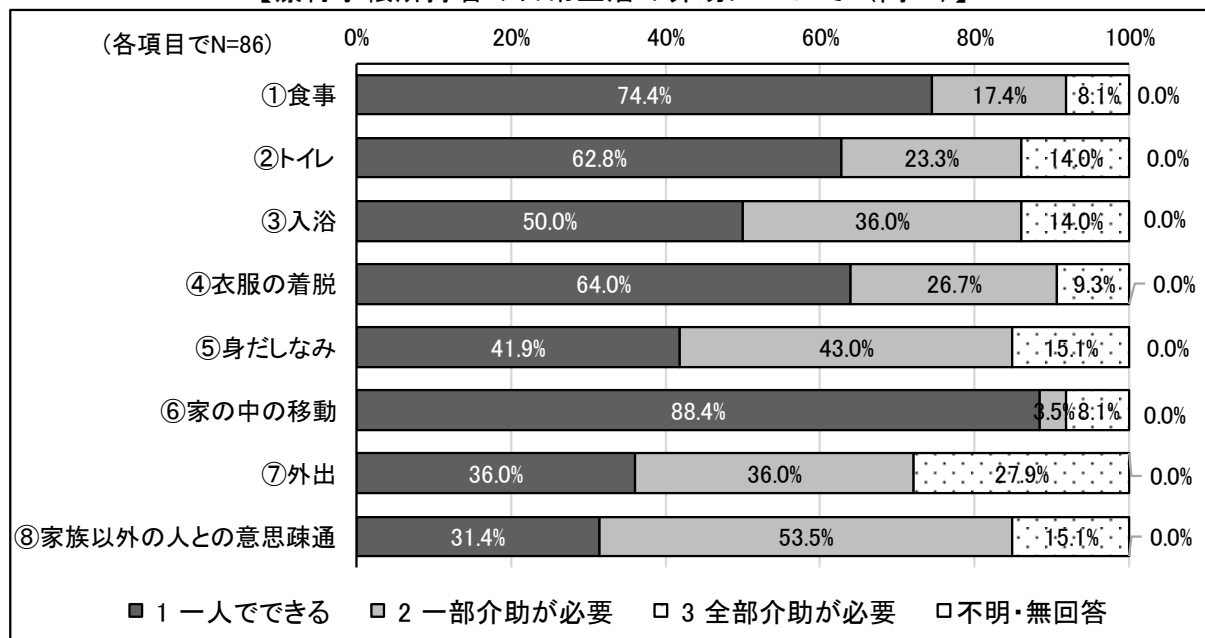


日常生活の介助について、身体障害者手帳所持者と療育手帳所持者を比較すると、身体障害者手帳所持者はすべての項目で療育手帳所持者に比べて「全部介助が必要」の割合が高くなっています。

【身体障害者手帳所持者の日常生活の介助について（問14）】



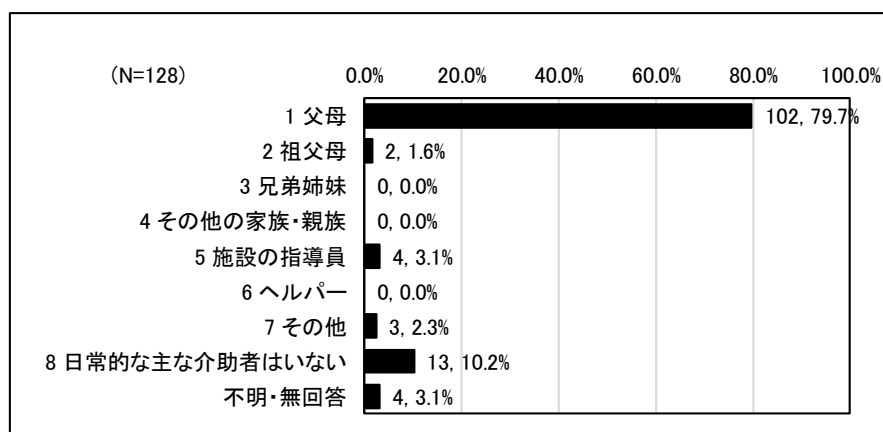
【療育手帳所持者の日常生活の介助について（問14）】



問15 日常的な介助をしてくれる方は主にどなたですか。(あてはまるもの1つだけに○)

1 父母	5 施設の指導員
2 祖父母	6 ヘルパー
3 兄弟姉妹	7 その他()
4 その他の家族・親族	8 日常的な主な介助者はいない

日常的に介助をしてくれる人は、ほとんどが「父母」となっていますが、一方で、「日常的な主な介助者はいない」割合が 10.2%となっています。



【問15で「1」～「4」のいずれかに○をつけた方におたずねします。】

問16 主な介助者の方の年齢、性別、健康状態をおたずねします。

① 年齢（平成29年7月1日現在） 満（ ）歳

② 性別（○は1つ）

1 男性

2 女性

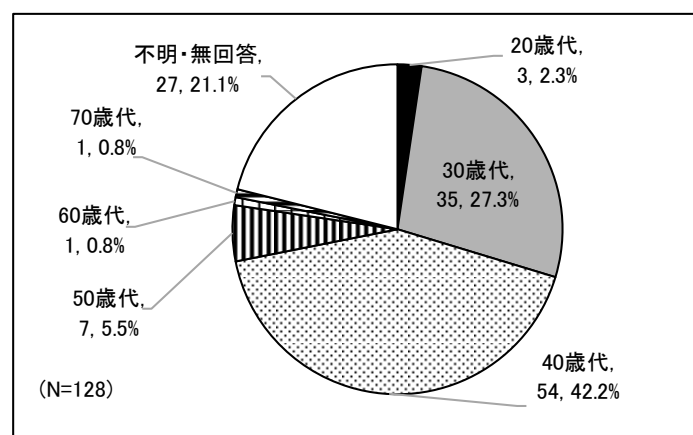
③ 健康状態（○は1つ）

1 よい

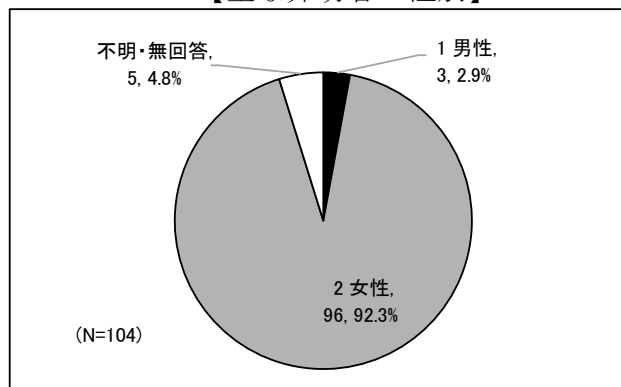
2 ふつう

3 よくない

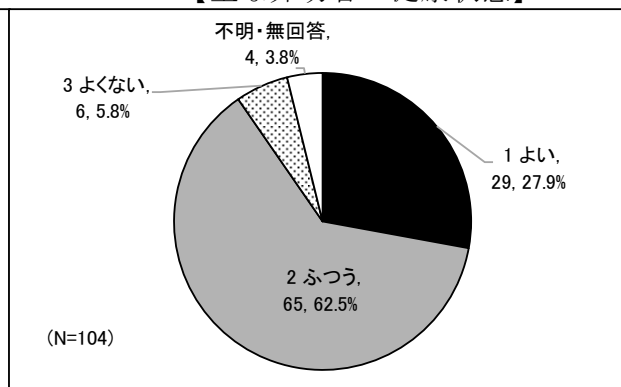
主な介助者の年齢は、「40 歳代」の割合が 42.2%で最も高く、次いで、「30 歳代」が 27.3%となっています。性別は、ほとんどが女性（母親）になっており、介助者の健康状態は、ほとんどが「よい」または「ふつう」となっています。



【主な介助者の性別】



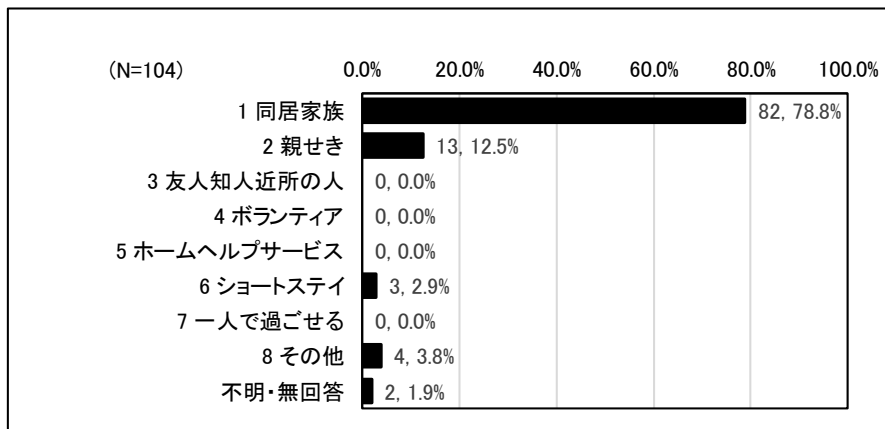
【主な介助者の健康状態】



問17 主な介助者の方が急病、事故、出産、高齢などのため一時的に介助できなくなった場合に、どのように対応されていますか。(あてはまるもの1つだけに○)

1 同居している家族で対応する	5 ホームヘルプサービスを利用する
2 親せきに頼む	6 ショートステイを利用する
3 友人・知人・近所の人に頼む	7 介助を頼まなくても一人で過ごせる
4 ボランティアに頼む	8 その他 ()

主な介助者が一時的に介助できなくなった場合は、ほとんどが「同居家族」となっています。

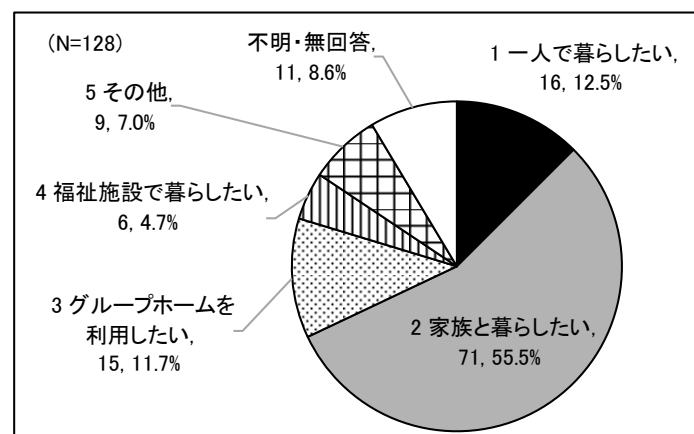


(4) 住まいや暮らしについて

問18 あなたは、将来、どのように暮らしたいと思いますか。(あてはまるもの1つだけに○)

1 一人で暮らしたい	4 福祉施設で暮らしたい
2 家族と暮らしたい	5 その他 ()
3 グループホームを利用したい	

将来の暮らし方については、「家族と暮らしたい」の割合が55.5%で最も高く、次いで、「一人で暮らしたい」(12.5%)、「グループホームを利用したい」(11.7%)となっています。

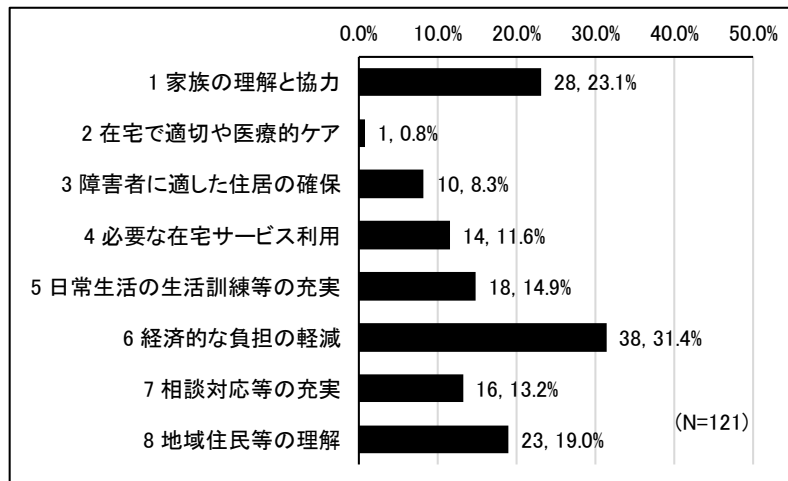


問19 地域で生活するためには、どのような支援があればよいと思いますか。(あてはまるもの1つだけに○)

1 家族の理解と協力	6 経済的な負担の軽減
2 在宅で医療的ケアなどが適切に利用できる	7 相談対応等の充実
3 障害者に適した住居の確保	8 地域住民等の理解
4 必要な在宅サービスが適切に利用できる	9 その他 ()
5 買物など日常生活に関わる生活訓練等の充実	

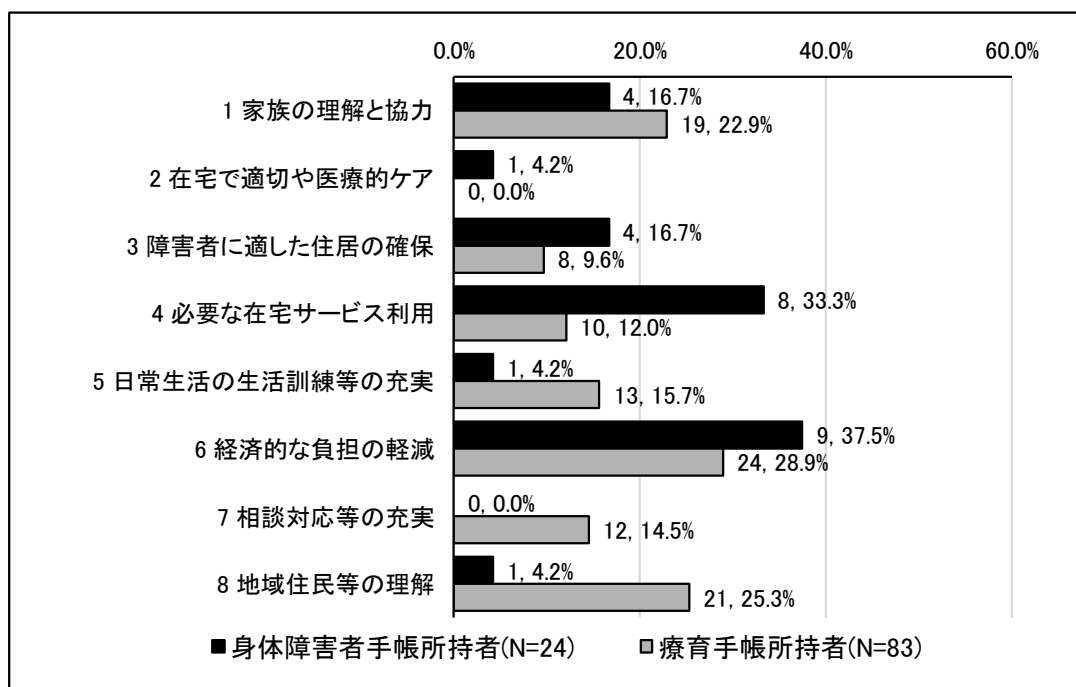
地域で生活をするための支援は、「経済的な負担の軽減」の割合が31.4%で最も高くなっています。次いで、「家族の理解と協力」(23.1%)、「地域住民等の理解」(19.0%)などとなっています。

※回答を「1つ」としていますが、複数回答をした人が多いため、複数回答処理をしています。



身体障害者手帳所持者と療育手帳所持者を比較すると、地域で生活をするための支援として「経済的な負担の軽減」の割合はいずれも最も高くなっていますが、他の項目では差がみられます。

「必要な在宅サービス利用」「障害者に適した住居の確保」では、身体障害者手帳所持者の割合が高く、「地域住民等の理解」「日常生活の生活訓練等の充実」「相談対応等の充実」では、療育手帳所持者の割合が高くなっています。

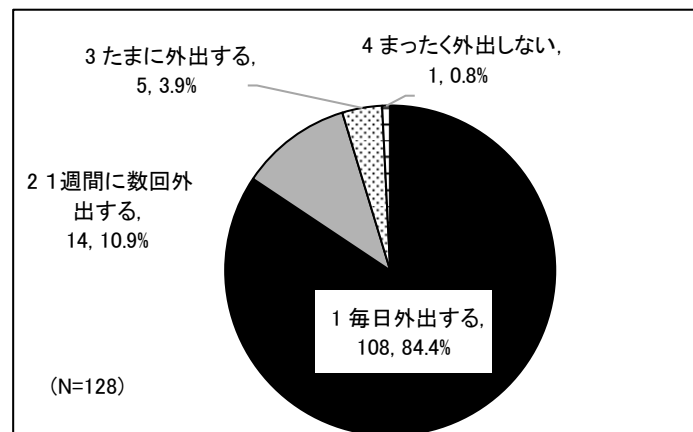


（５）日中活動について

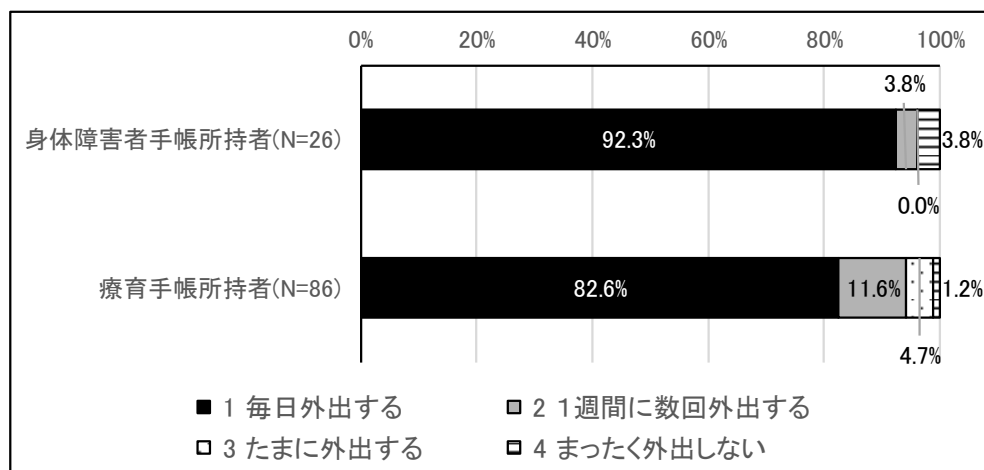
問20 あなたは、１週間にどの程度外出しますか。（あてはまるもの１つだけに○）

- | | |
|--------------|-------------|
| 1 毎日外出する | 4 まったく外出しない |
| 2 １週間に数回外出する | |
| 3 たまに外出する | |

１週間の外出については、ほとんどが「毎日外出する」となっています。



身体障害者手帳所持者と療育手帳所持者を比較すると、「毎日外出する」の割合は、身体障害者手帳所持者の方が療育手帳所持者より高くなっていますが、「外出する」（「毎日外出する」「１週間に数回外出する」「たまに外出する」の合計）では、療育手帳所持者の方が割合が高くなっています。

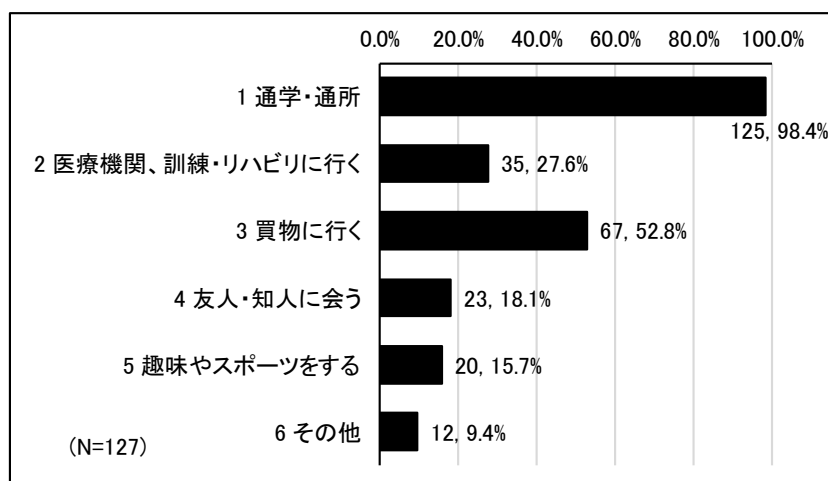


【問20で「1」～「3」のいずれかに○をつけた方におたずねします。】

問21 どのような目的で外出することが多いですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1 通学・通所 | 4 友人・知人に会う |
| 2 医療機関、訓練・リハビリに行く | 5 趣味やスポーツをする |
| 3 買物に行く | 6 その他（ ） |

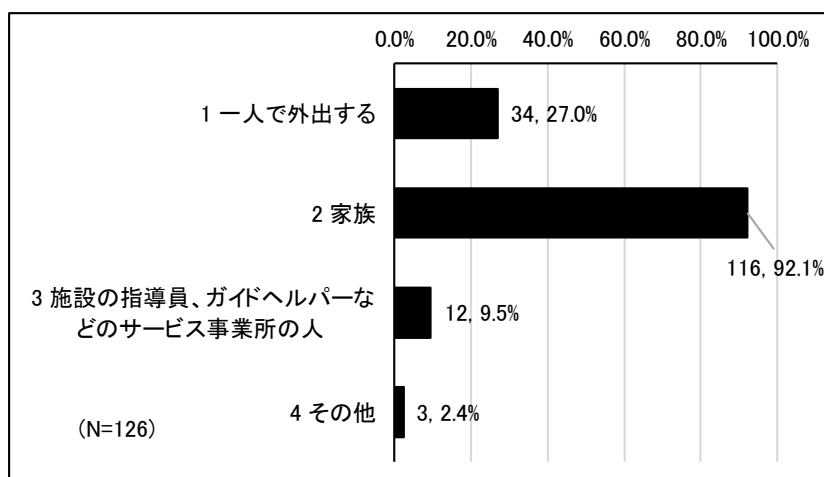
外出の目的では、「通学・通所」の割合が 98.4%と最も高く、次いで、「買物に行く」が 52.8%となっています。



問22 あなたは、外出するときに誰と外出しますか。（あてはまるものすべてに○）

- | |
|------------------------------|
| 1 一人で外出する |
| 2 家族 |
| 3 施設の指導員、ガイドヘルパーなどのサービス事業所の人 |
| 4 その他（ ） |

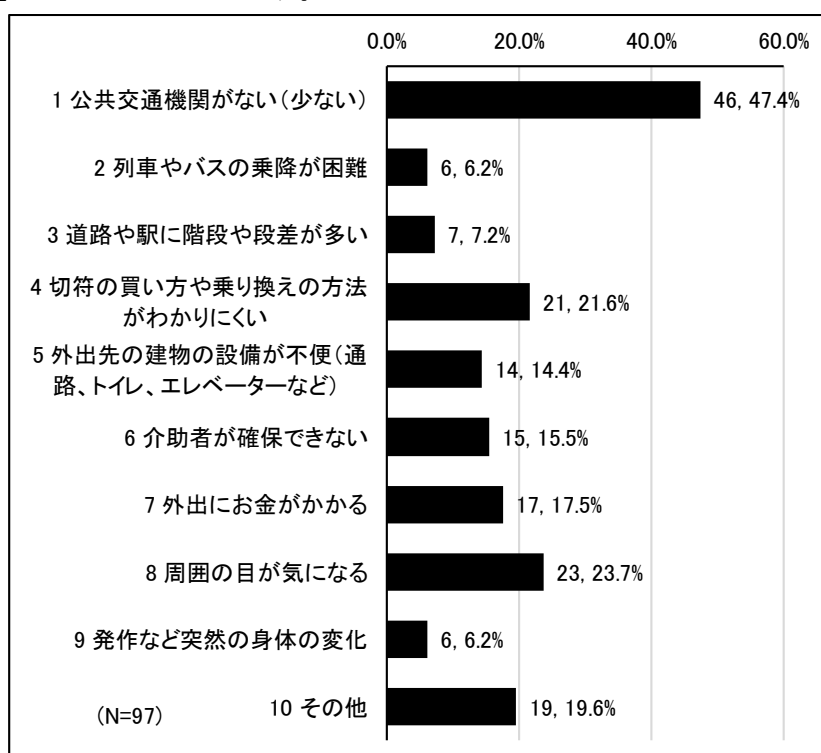
ほとんどが「家族」と外出していますが、「一人で外出する」も 27.0%となっています。



問23 外出するときに困ることは何ですか。(あてはまるもの3つ以内で選んでください)

1 公共交通機関がない(少ない)	6 介助者が確保できない
2 列車やバスの乗降が困難	7 外出にお金がかかる
3 道路や駅に階段や段差が多い	8 周囲の目が気になる
4 切符の買い方や乗り換えの方法がわかりにくい	9 発作など突然の身体の変化
5 外出先の建物の設備が不便(通路、トイレ、エレベーターなど)	10 その他()

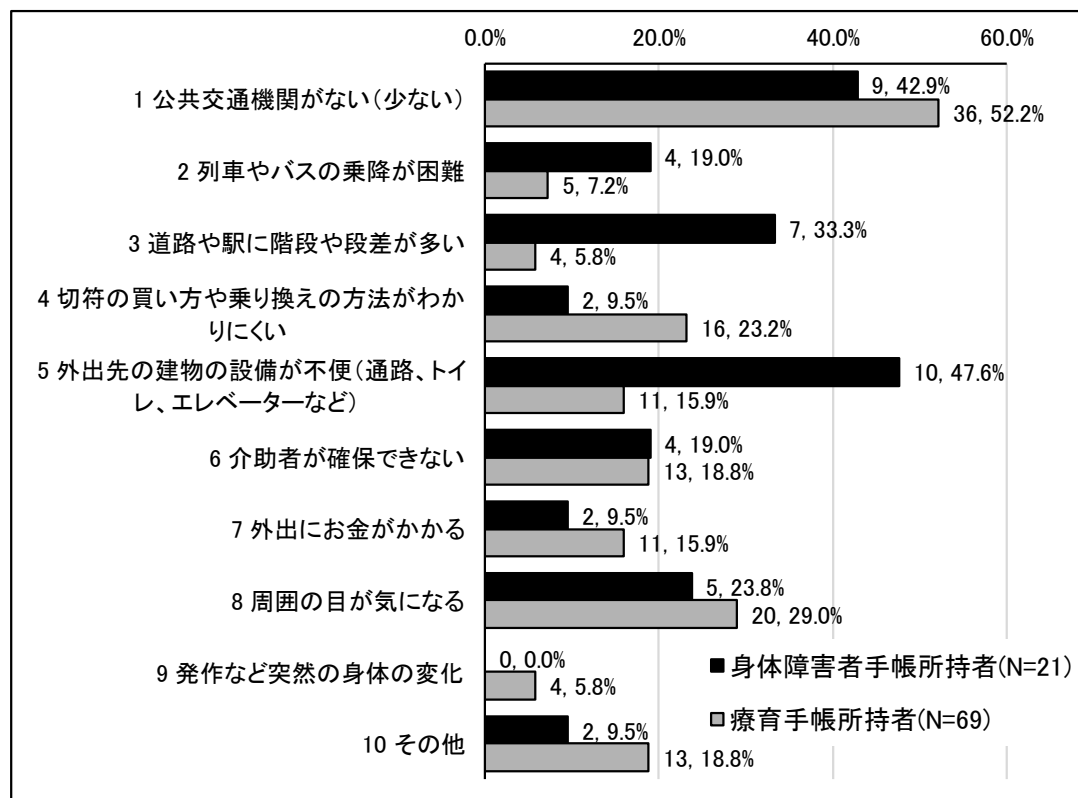
外出時に困ることでは、「公共交通機関がない(少ない)」の割合が47.4%と、他に比べて高くなっています。次いで、「周囲の目が気になる」、「切符の買い方や乗り換えの方法がわかりにくい」などとなっています。



「その他」には、次のような回答があり、障害の特性による困りごと、障害者への合理的配慮がないこと、トイレ関連、障害者と理解してもらえないことなどがあがっています。

危険回避ができない。	目に入るものが気になってしまう。
気になるとなかなか帰ろうとしない。	忘れ物をする。
常に目が離せないこと。	道路が怖い。
聴覚過敏でスーパーなどはしんどい。聴覚障害者への合理的な配慮がない。	
普通の人と認識され理解されないこと。	
オムツ替えのコーナーが少ない。赤ちゃん用は小さい。	
食事をする場所にも困る。	
トイレに介助者と二人で安全に入れない。	
特急電車などでトイレに入れない。	

外出時に困ることについて、身体障害者手帳所持者と療育手帳所持者を比較すると、身体障害者手帳所持者では「外出先の建物の設備が不便」「道路や駅に階段や段差が多い」「列車やバスの乗降が困難」など移動の制約となるハードな部分で割合が特に高くなっています。

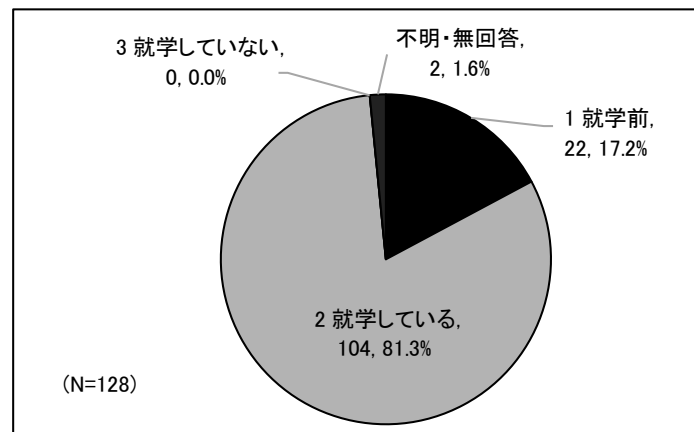


（６）就学について

問24 あなたの現在の就学状況をおたずねします。（あてはまるもの１つだけに○）

1 就学前	2 就学している	3 就学していない
-------	----------	-----------

就学状況では、「就学している」の割合が 81.3%となっています。

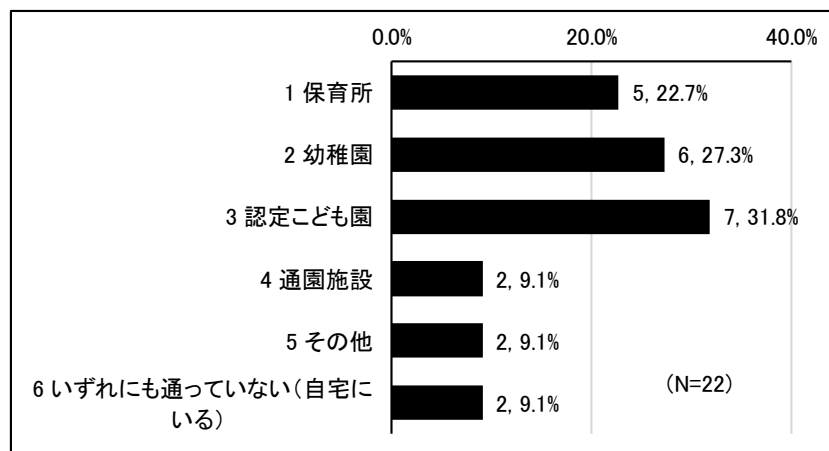


【問24で「1 就学前」に○をつけた方におたずねします。】

問25 あなたは現在、日中どのように過ごしていますか。（○は2つまで）
 保育所などから通園施設に通っている人は両方に○をつけてください。

1 保育所	5 その他（ ）
2 幼稚園	6 いずれにも通っていない（自宅にいる）
3 認定こども園	
4 通園施設	

就学前の日中の過ごし方では、「認定こども園」の割合が最も高く、次いで、「幼稚園」「保育所」となっています。

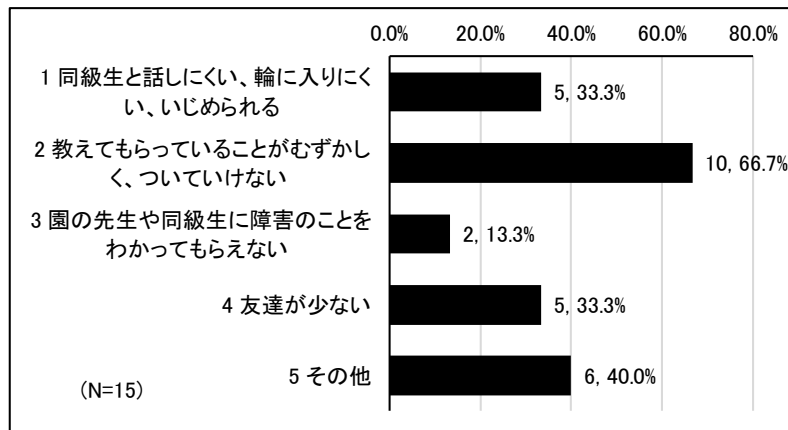


【問25で「1」～「4」に○をつけた方におたずねします。】

問26（1）園生活の中で、困ることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|---|---------------------------|
| 1 | 同級生と話しにくい、輪に入りにくい、いじめられる |
| 2 | 教えてもらっていることがむずかしく、ついていけない |
| 3 | 園の先生や同級生に障害のことをわかってもらえない |
| 4 | 友達が少ない |
| 5 | その他（ ） |

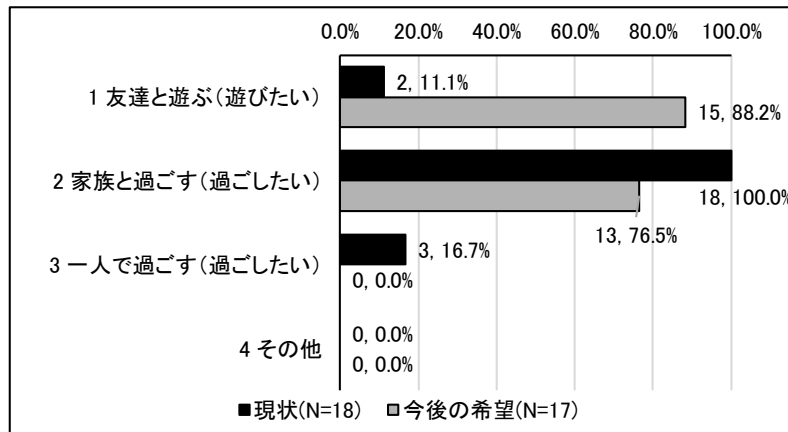
園生活の中で困っていることでは、「教えてもらっていることがむずかしく、ついていけない」の割合が高くなっています。



問26（2）園から帰ったあと、どのように過ごしていますか。また、今後はどのように過ごしたいですか。（あてはまるものすべてに○）

現 状	今後の希望
1 友達と遊ぶ	1 友達と遊びたい
2 家族と過ごす	2 家族と過ごしたい
3 一人で過ごす	3 一人で過ごしたい
4 その他（ ）	4 その他（ ）

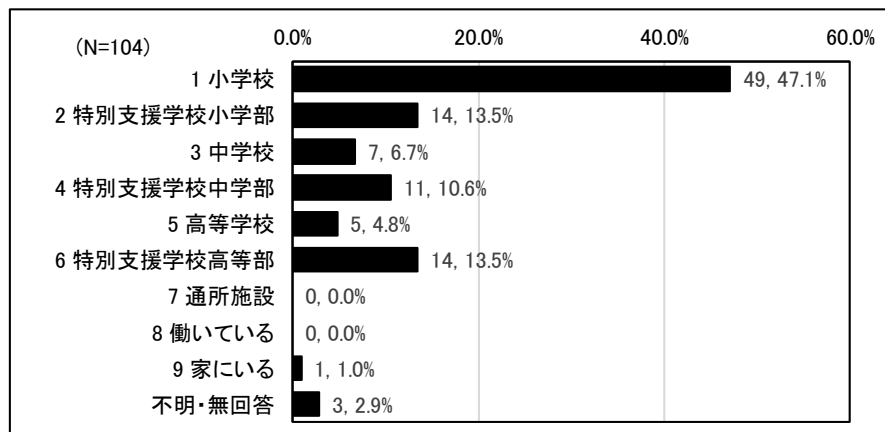
園から帰ったあとの過ごし方について、現状では全員が「家族と過ごす」としていましたが、今後の希望では、「友達と遊びたい」の割合の方が高くなっています。



【問24で「2 就学している」「3 就学していない」に○をつけた方におたずねします。】
 問27 あなたは、日中どこで、またはどのように過ごしていますか。（あてはまるもの1つだけに○）

1 小学校	7 通所施設に通っている
2 特別支援学校の小学部	8 働いている
3 中学校	9 家にいる
4 特別支援学校の中学部	10 その他（ ）
5 高等学校	
6 特別支援学校の高等部	

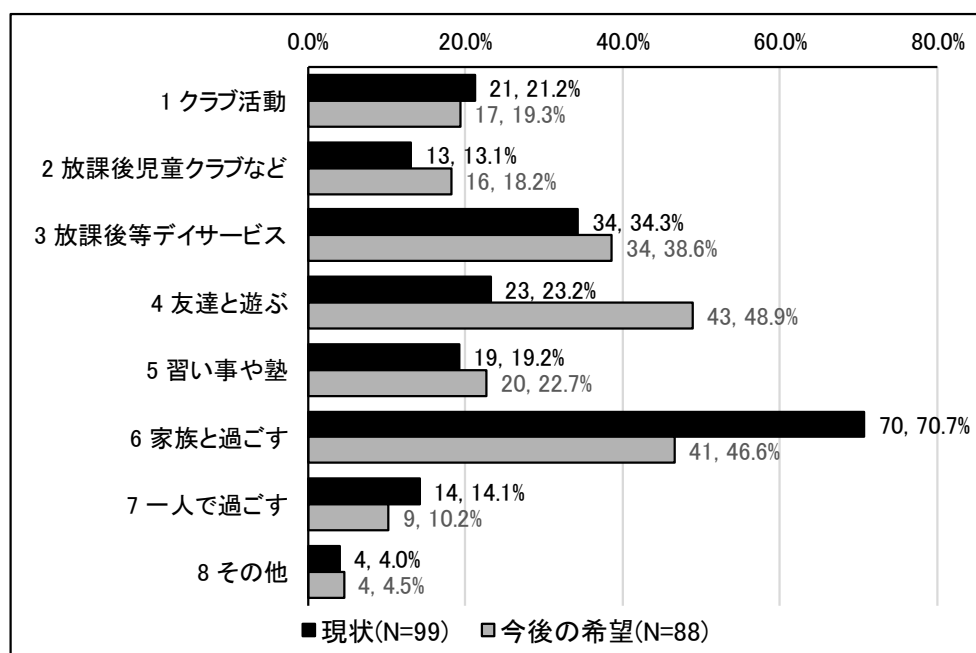
就学している場合では、「小学校」の割合が 47.1%で最も高くなっています。



問28（2）放課後どのように過ごしていますか。また、今後はどのように過ごしたいですか。（あてはまるものすべてに○）

現 状	今後の希望
1 クラブ活動に行く	1 クラブ活動にいきたい
2 放課後児童クラブなどで過ごす	2 放課後児童クラブなどで過ごしたい
3 放課後等デイサービスに行く	3 放課後等デイサービスにいきたい
4 友達と遊ぶ	4 友達と遊びたい
5 習い事や塾に行く	5 習い事や塾にいきたい
6 家族と過ごす	6 家族と過ごしたい
7 一人で過ごす	7 一人で過ごしたい
8 その他（ ）	8 その他（ ）

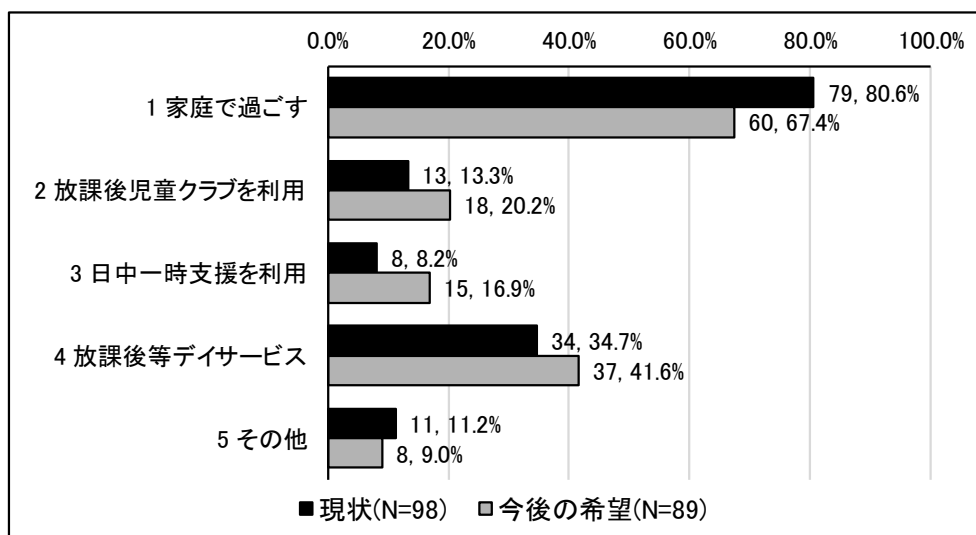
放課後の過ごし方について、現状では全員が「家族と過ごす」の割合が特に高くなっていますが、今後の希望では、「友達と遊びたい」の割合の方が高くなっています。



問28（3）長期休暇はどのように過ごしていますか。また、今後はどのように過ごしたいですか。（あてはまるものすべてに○）

現 状	今後の希望
1 家庭で過ごす	1 家庭で過ごしたい
2 放課後児童クラブを利用している	2 放課後児童クラブを利用したい
3 日中一時支援を利用している	3 日中一時支援を利用したい
4 放課後等デイサービスに行く	4 放課後等デイサービスにいきたい
5 その他（ ）	5 その他（ ）

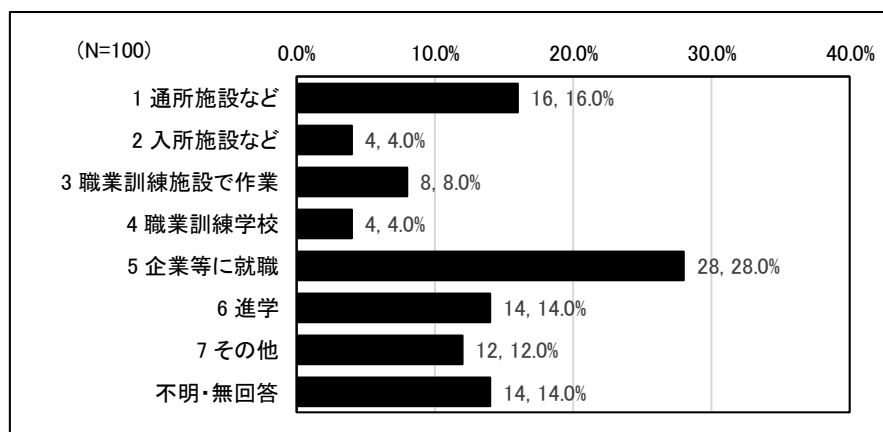
長期休暇の過ごし方については、現状、今後の希望ともに「家庭で過ごす」の割合が特に高くなっていますが、今後の希望の方が現状より低くなっている。一方で、「放課後等デイサービス」「放課後児童クラブ」「日中一時支援」では、現状より今後の希望の方が、割合が高くなっています。



問28（４）中学校（特別支援学校の中学部）、高校（特別支援学校の高等部）卒業後の希望進路をおたずねします。（あてはまるもの１つだけに○）

- 1 通所して、機能・生活訓練や作業指導を受けたい（通所施設など）
- 2 入所して、機能・生活訓練などを受けたい（入所施設など）
- 3 職業訓練を受けられるような施設に通って作業をしたい
- 4 職業訓練学校で訓練を受けたい
- 5 企業などへ就職したい
- 6 進学したい
- 7 その他（ ）

卒業の進路については、「企業等に就職」の割合が 28.0%で最も高く、次いで、「通所施設」（16.0%）、「進学」（14.0%）などとなっています。

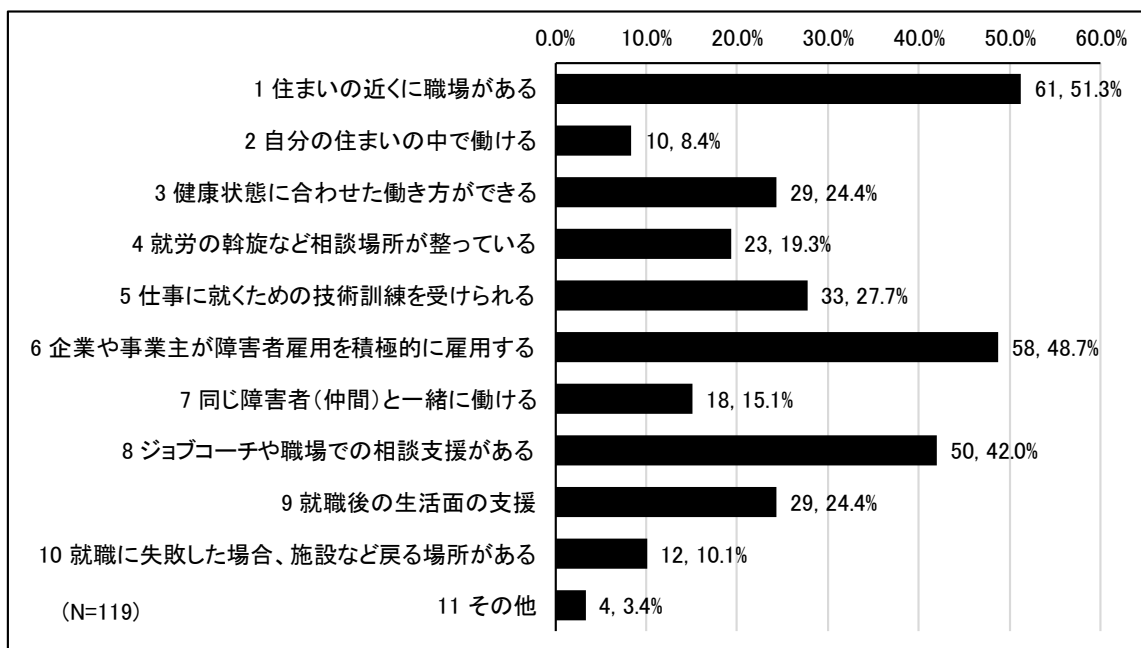


【みなさんにおたずねします。】

問29 あなたが今後働くとしたら、どのようなことが必要ですか。（あてはまるものを3つ以内で選んでください）

- 1 自分の住まいの近くに職場があること（職場までの送迎・支援があること）
- 2 自分の住まいの中で働けること
- 3 健康状態に合わせた働き方ができること
- 4 就労の場のあっせんなど相談場所が整っていること
- 5 仕事に就くために技術を身につける訓練を受けられること
- 6 企業や事業主が障害者雇用について理解し、積極的に雇用すること
- 7 同じ障害者（仲間）と一緒に働けること
- 8 仕事をしやすく支援する人（ジョブコーチ）や職場での相談支援があること
- 9 就職してからの生活面の支援（お金の使い方や休日の過ごし方の相談など）
- 10 就職に失敗した場合に、施設など戻る場所があること
- 11 その他（ ）

今後、働くとした場合に必要なことについては、「自分の住まいの近くに職場があること」の割合が最も高く、次いで、「企業や事業主が障害者雇用について理解し、積極的に雇用すること」、「仕事をしやすく支援する人（ジョブコーチ）や職場での相談支援があること」などとなっています。



（７）障害福祉サービス等の利用について

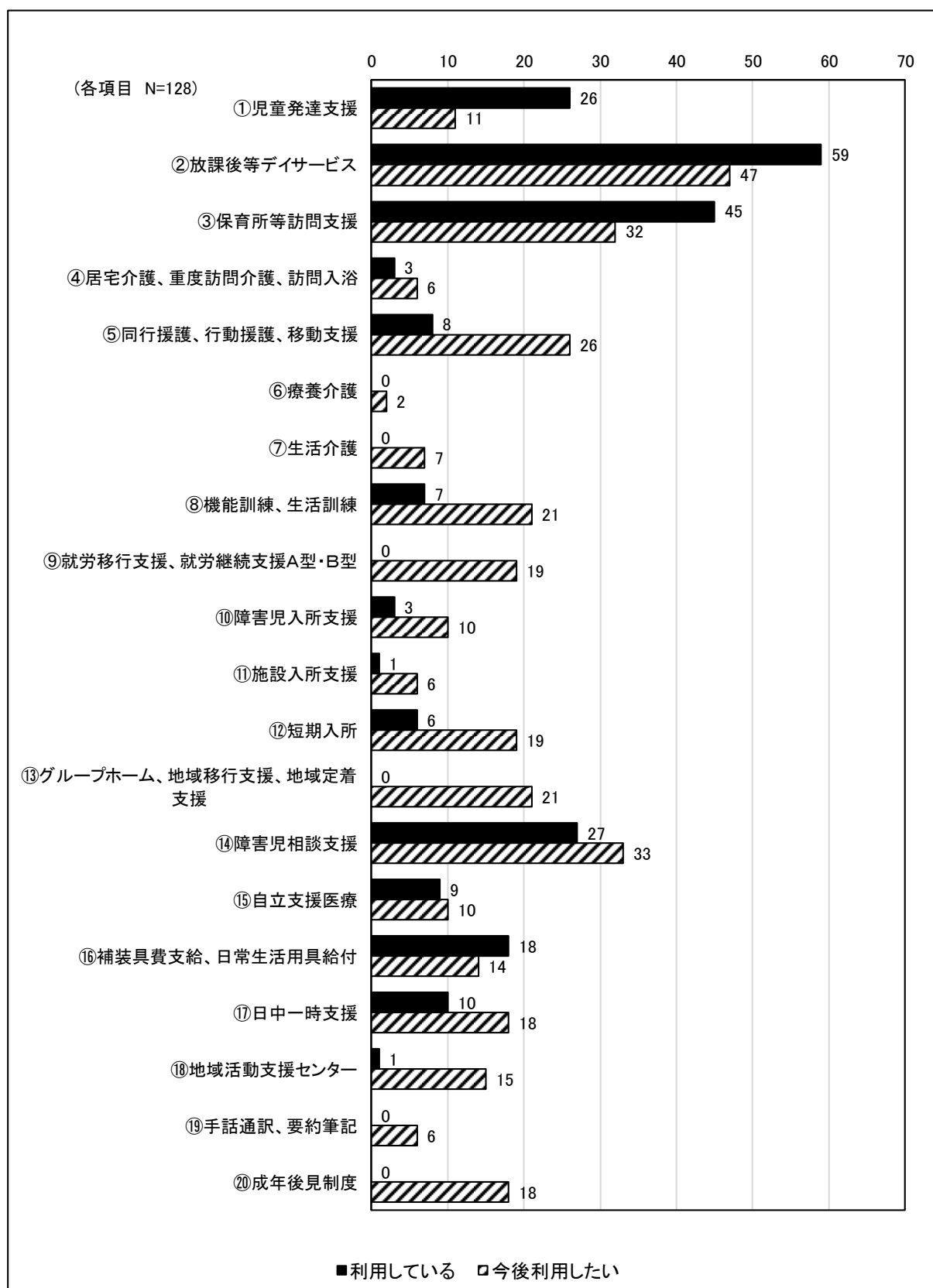
問30（１）あなたは次のサービスについて、現在利用しているものには「状況」欄に○をつけてください。サービスの満足度について、「満足度」欄のあてはまる番号に○をつけてください。また、今後３年以内に利用したいものには「意向」欄に○をつけてください。

①未就学児に基本的な動作の指導などを行う支援（児童発達支援）
②就学している方の訓練や社会との交流促進の支援（放課後等デイサービス）
③保育所などを訪問して集団生活への適応のための専門的な支援（保育所等訪問支援）
④ホームヘルプなどの在宅サービス（居宅介護、重度訪問介護、訪問入浴）
⑤外出時に必要な支援（同行援護、行動援護、移動支援）
⑥医療的ケアや常時介護が必要な方の日中支援（療養介護）
⑦介護などが必要な方の日中支援（生活介護）
⑧身体機能や生活能力の向上など自立のための訓練（機能訓練、生活訓練）
⑨就労に向けた支援（就労移行支援、就労継続支援A型・B型）
⑩施設に入所して日常生活の指導、知識や技能の付与を行う支援（障害児入所支援）
⑪夜間や休日に、介護など施設に入所して行う支援（施設入所支援）
⑫一時的に施設に入所して行う支援（短期入所）
⑬地域で暮らしていくための支援（グループホーム、地域移行支援、地域定着支援）
⑭生活上の悩みやサービス利用に関する相談（障害児相談支援）
⑮医療費の助成（自立支援医療）
⑯補装具費の支給や日常生活用具の給付
⑰日中、施設などで一時的に見守りなどを行う支援（日中一時支援）
⑱施設で仲間との交流やレクリエーションなどの機会を提供する支援（地域活動支援センター）
⑲コミュニケーションを図る意思疎通支援（手話通訳、要約筆記）
⑳成年後見人などが本人の利益を考え保護・支援する制度（成年後見制度）

【障害福祉サービスの利用の現状と今後の利用意向】

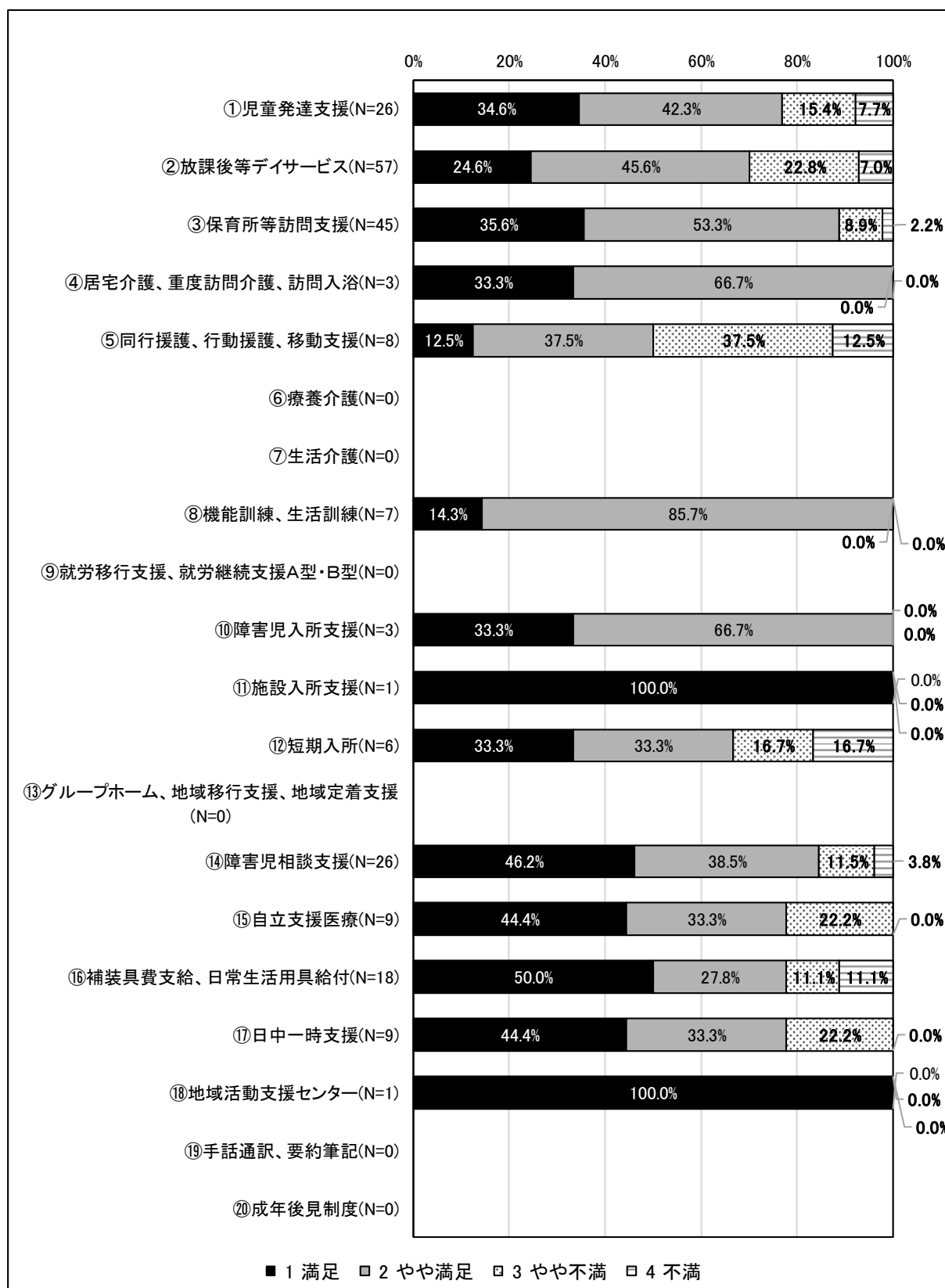
障害福祉サービスの利用状況と今後の利用意向をみると、利用が比較的多いのは、「放課後等デイサービス」「保育所等訪問支援」「障害児相談支援」などとなっています。

また、現状の利用に対して利用意向が増えるのは、「同行援護、行動援護、移動支援」「機能訓練、生活訓練」「就労移行支援、就労継続支援A型・B型」「短期入所」「グループホーム、地域移行支援、地域定着支援」「地域活動支援センター」「成年後見制度」などとなっています。



【障害福祉サービスの利用の満足度】

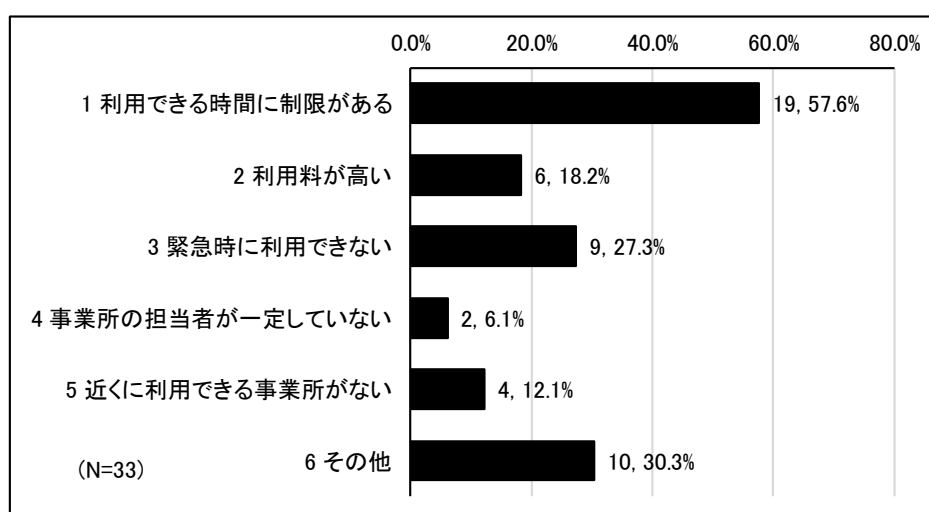
利用している障害福祉サービスについては、概ね「満足」「やや満足」となっています。



問30（2）「満足度」で、1つでも「3 やや不満」または「4 不満」と答えられた方におたずねします。不満の内容を2つまで選んでください。

1 利用できる時間に制限がある	4 事業所の担当者が一定していない
2 利用料が高い	5 近くに利用できる事業所がない
3 緊急時に利用できない	6 その他（ ）

障害福祉サービスの利用での「不満の内容」では、「利用できる時間に制限がある」の割合が最も高く 57.6%となっています。次いで、「緊急時に利用できない」「利用料が高い」などとなっています。



「その他」には、サービスの内容が希望に合っていない、日程が合わない、回数が少ない、個別対応してもらえないなどがあがっています。

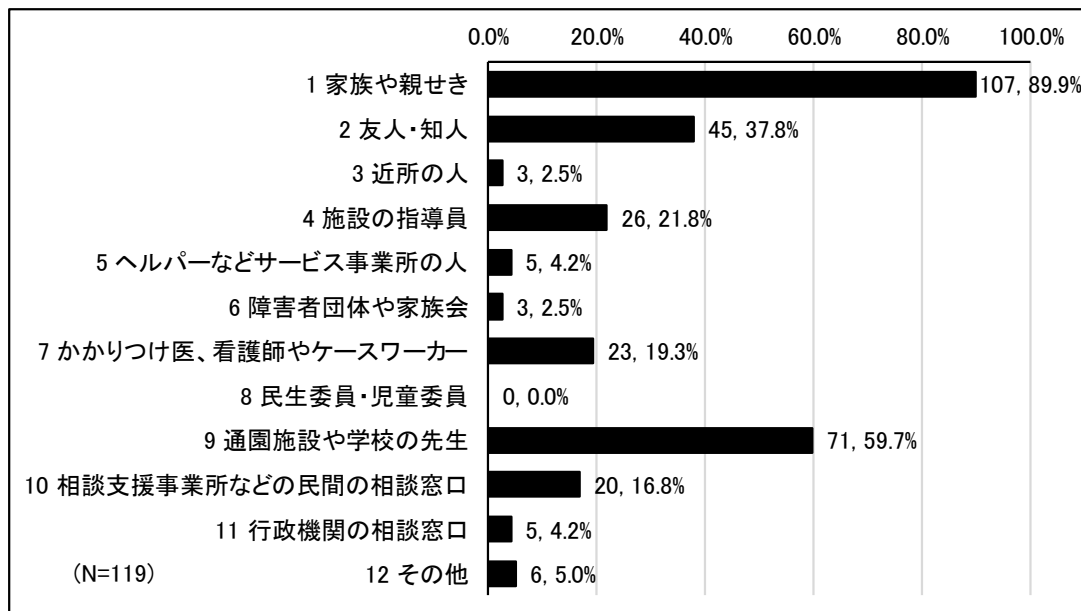
サービスが利用者の希望に沿った制度になっていない。
日程を合わせられない。
回数が少ない。
遠方である。
予約が取れない。
なかなかゆっくりと話ができない。
利用者が多く、個別対応ができていない。
職員のレベルの問題。

（８）相談相手について

問31 あなたは、ふだん悩みや困ったことをどなたに相談しますか。（あてはまるものすべてに○）

1 家族や親せき	8 民生委員・児童委員
2 友人・知人	9 通園施設や保育所、幼稚園、認定こども園 学校の先生
3 近所の人	10 相談支援事業所などの民間の相談窓口
4 施設の指導員	11 行政機関の相談窓口
5 ヘルパーなどサービス事業所の人	12 その他（ ）
6 障害者団体や家族会	
7 かかりつけの医師、看護師やケースワーカー	

ふだん悩みや困ったことを相談する相手は、「家族や親せき」の割合が 89.9%と高く、次いで、「通園施設や保育所、幼稚園、認定こども園、学校の先生」が 59.7%となっています。

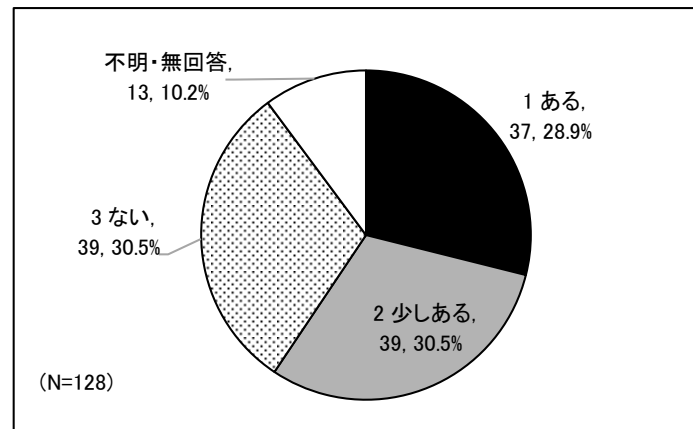


(9) 権利擁護・人権尊重、災害時の避難等について

問32 あなたは、障害があることで差別や嫌な思いをすること（したこと）がありますか。（あてはまるもの1つだけに○）

1 ある	2 少しある	3 ない
------	--------	------

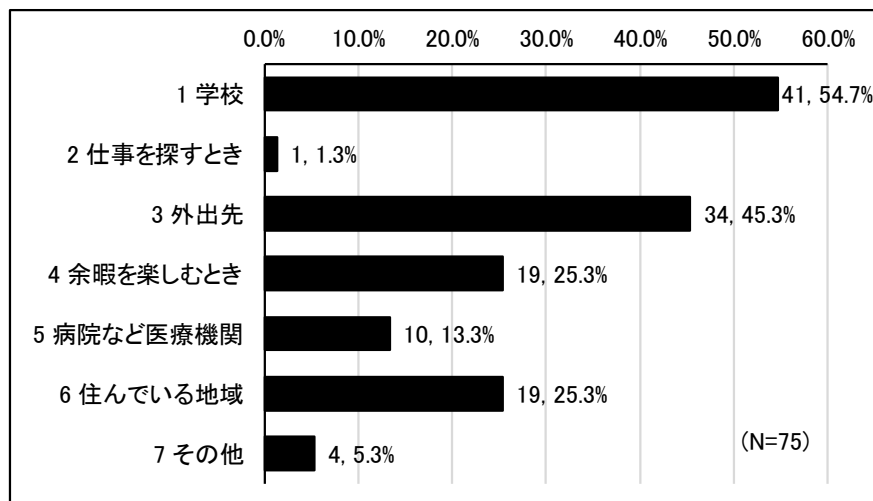
障害があることで差別や嫌な思いをすること（したこと）が、「ある」が28.9%、「少しある」が30.5%で、これらを合わせると約6割が、差別や嫌な思いをした経験があるとなっています。



問33 どのような場所で差別や嫌な思いをしましたか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 学校
2 仕事を探すとき
3 外出先
4 余暇を楽しむとき
5 病院など医療機関
6 住んでいる地域
7 その他 ()

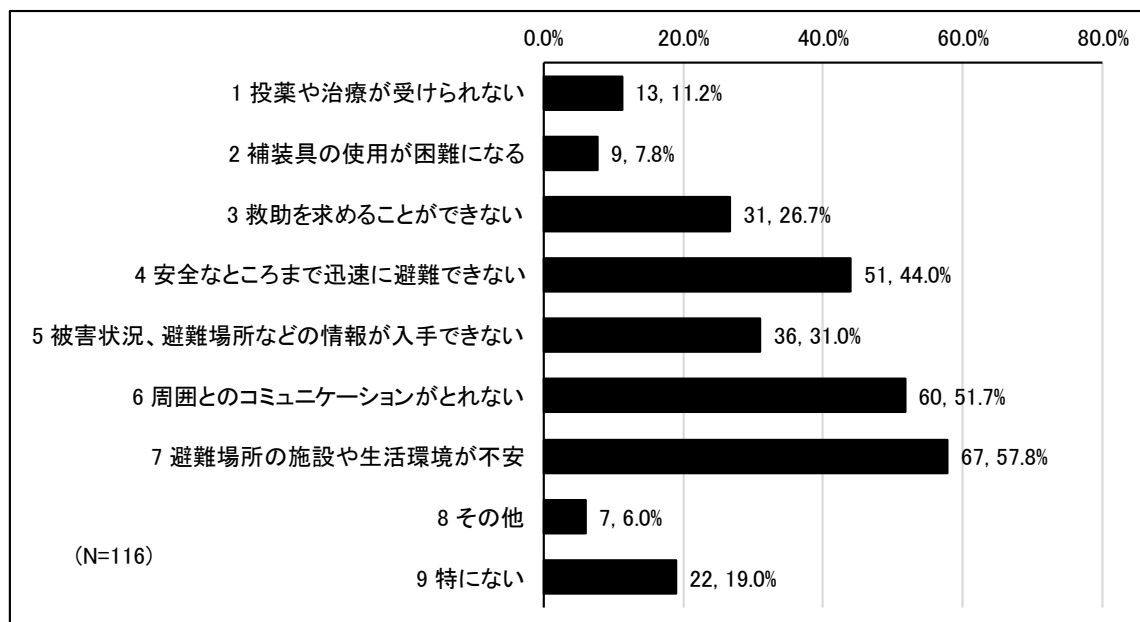
障害があることで差別や嫌な思いをしたことがある場所では、「学校」の割合が 54.7%で最も高く、次いで、「外出先」(45.3%)、「余暇を楽しむとき」(25.3%)、「住んでいる地域」(25.3%) などとなっています。



問34 火事や地震等の災害時に困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 投薬や治療が受けられない
- 2 補装具の使用が困難になる (入手が困難になるなども含む)
- 3 救助を求めることができない
- 4 安全なところまで、迅速に避難することができない
- 5 被害状況、避難場所などの情報が入手できない
- 6 周囲とのコミュニケーションがとれない
- 7 避難場所の施設 (トイレなど) や生活環境が不安
- 8 その他 ()
- 9 特にない

火事や地震等の災害時に困ることでは、「避難場所の施設 (トイレなど) や生活環境が不安」の割合が 57.8%と高く、次いで、「周囲とのコミュニケーションがとれない」(51.7%)、「安全なところまで、迅速に避難することができない」(44.0%) などとなっています。



(10) 障害福祉サービスに関する自由意見

問35 障害福祉サービスや本市の取組についての自由意見

自由意見の回答は48件あり、主な内容は以下のとおりである。

特に多い意見は、「施設が不足している」であり、療育施設、放課後等デイサービスの受入施設、医療的ケアの受入施設などがあがっています。

これに次いで、「移動支援が利用しにくい」、「支援員・介助員の不足、育成」、「申請等の手続の期間がかかりすぎる」、「障害福祉サービスの情報提供の不足」などがあがっています。

内容	件数
施設が不足している	17
移動支援が利用しにくい	4
支援員・介助員の不足、育成	4
手続の問題（期間がかかりすぎる）	4
情報提供の必要性	4
サポートファイル、支援計画が機能していない	3
学校、地域での障害児に対する理解不足	3
経済的負担	2
グループ療育の期間の問題	1
一般就労への不安	1
学習への不安	1
関係機関の連携不足	1
緊急時に預けられる施設	1
市内でのサービスの地域格差	1
施設の時間と仕事とのミスマッチ	1
住宅、車などの改造費助成の強化	1
障害者の賃金の引き上げ	1
専門家の客観的な意見が欲しい	1
相談機関に相談しにくい	1
多様性のある住居の提供	1
長期休暇時の過ごし方の困りごと	1
年齢の近い子どもを対象とした交流会	1
放課後等デイサービスの問題（期間、レベル）	1
合計	56

※ 1人の自由意見に、複数の内容が含まれているため、合計は回答件数を超えています。